

事業所名

山形地域福祉事業所陽だまりクラブ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

19日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの違いや個性を尊重します。</li> <li>子どもの持つ力を信じ、育てます。</li> <li>子どもたちの命はくぐむ自然、人、文化など豊かな社会関係をつくり出します。</li> </ul> 「共に生き、共に働く社会の創造」を合言葉にすべての子どもや障がいがかかえている方の命や人権が大切にされる社会づくりを目指していきます。						
支援方針		地域の方と積極的に交流を図っていく中で、子どもたちへの理解の促進や、体験・経験の場を多く作っていきます。 子どもたちの「できた」に目を向けながら一人ひとりに寄り添った居場所を作っていきます。						
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	本人とも確認をしながら身だしなみを整えて方を学んでいきます。 掃除や整理整頓、手洗いうがいなどを行い衛生面への自立にも取り組んでいきます。 食育(小農、昼食作り、おやつ作り)を通じて、食への感謝や、食べること、育てることの楽しさを育てていきます。						
	運動・感覚	外出活動で近隣の公園などに出かけ身体を動かし、体力の向上や精神面の安定につなげていきます。 音楽に合わせた、体操やストレッチ、ヨガを通して体力、筋力、柔軟性の向上に楽しみながら取り組んでいきます。 季節に応じた制作や手作りおもちゃ作りを通じて道具の使い方や、指先や手の感覚を養っていきます。						
	認知・行動	外出活動や季節の行事などにより、周囲の環境の変化を感じる機会を作ります。 スケジュールや時間を、絵カードなどを使用して視覚化を行い、理解しやすい環境設定を行っていきます。						
	言語 コミュニケーション	指さし、ハンドサイン、絵カード、写真などを用意し、一人ひとりの特性に合わせた関わりを行っていきます。 スケジュールの設定を行い、見通しを持った活動を提供していきます。 外部講師をお呼びし、キッズアナウンス活動にて、発音の練習や考えて伝えることの楽しさ、話を聞く姿勢を養っていきます。						
	人間関係 社会性	全体や小集団の遊びの活動を通して順番を守ったり、人との関わり方や社会性を身につけていきます。 買い物練習や、買い物体験を通じて、計算やお金の管理を学んでいきます。 小学生～高校生までの幅広い年齢層の中でお互いの価値観や、他児と折り合いをつけながら、人との関わりや接し方を学んでいきます。						
家族支援		お迎え時、モニタリングなど、その都度相談に応じています。 保護者のニーズに応じて、できることから形にしています。 ・延長支援の充実 ・お惣菜販売(月3～4回) ・地域食堂の実施(月1回) ・保護者交流会の実施(年2回)			移行支援		スムーズに移行ができるように、就学前に通っていた施設や、他事業所、卒業後通う予定の施設と情報交換を行い連携を図っていきます。地域の方々に積極的に発信し交流を図っていきます。	
地域支援・地域連携		地域の方々に発信し協力をいただきながら、体験や交流の場を多く作っています。 ・スタンプラリー ・ハロウィン ・昼食作り ・地域食堂 ・お惣菜販売 ・ペットボトルキャップ回収、分別活動			職員の質の向上		県主催の研修、法人主催の各研修に参加しています。年間計画にて内部研修の実施しています。第3者委員会の実施しています(年1回) 計画、マニュアル、指針など策定と随時見直しを行っています。週一回の全体ミーティングの実施しています。	
主な行事等		・季節の行事(お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分) ・長期休暇の体験、お出かけ ・小農活動、収穫体験、食育活動 ・陽だまり祭り、保護者交流会、卒業児童のお別れ会 ・避難訓練 ・地域の方々とスタンプラリー、仮装してのハロウィンイベント						